

人と人の輪がひろがるリレートーク。それぞれの分野で懸命に生きる方に素顔を書いていただいています。



この人に ちょっとお話を聞かせて！ リレートーク ⑧

京谷 奈緒美さん

プロフィール／きょうや なおみ 上越市出身。イトーヨーカドーエルマールで夫と「リそら整体院」を営む。本業のほか、女性の体についての執筆・講演活動。昨年春、上越市街地から桑取谷に引越し、築年数不明の古民家で夫と小学1年・2年の子どもと暮らしている。

私が整体の仕事をしたのは18歳のときでした。当時、新聞配達

をしながら学校に通っていましたが、整体の授業で初めて整体を受けて、物凄く体が楽になったので感激しました。体だけではなく気持ちも穏やかになり、「体が楽になると心も変わるんだ！」と思いました。

卒業後は都内の病院のリハビリ科で働きました。23歳の時に同じ仕事をしている夫との結婚と同時に、お腹に子どもがいることに気づきました。

仕事が出来なくなってきた時に、やむなく産休に入ることになり、「こんな私が母親になれるのだろうか？」と不安になりました。一番の不安は出産。世の母親達が口にする出産体験談を聞けば聞くほど、出産をすることが怖くなりました。けれど、実際出産をしてみると痛さの中にも、何とも言えない爽快感があり「産むのって気持ちいいな」と思いました。

出産を機に、女性の体と心に興味を持ちました。時が満ちれば陣痛がきて子どもが産まれること。母乳の成分は血液ですが、血液は赤いのに母乳は白い、血液はしょっぱいのに母乳は甘い、調べれば調べるほど不思議でした。

出産後3ヶ月で、夫と共に故郷上越に戻り整体院を開業しました。と同時に、産後5ヶ月で2人目を妊娠。今度は出産ではなく生活できるかが不安でしたが、何とかお店は軌道に乗り、お産は前回よりも、更に爽快感がある楽しいお産でした。

産後1年半で仕事に復帰し、出産前より一層仕事が楽しくなりました。何が楽しいかというと、女性の体を施術できること。女性の体は会うたびに変化していくので、とても興味深いです。お店には若い女性やお母さんが多いのですが、施術が終わると顔色や姿勢だけでなく、「これで仕事をもっと頑張れそう」「家に帰ったら子供に優しくできそう」と笑顔で言ってくれます。



<http://ameblo.jp/risora/>

女性が笑顔になれるように

女性は、仕事や家事、育児や介護とやることがたくさんあります。時には疲れて笑顔になれない時もあります。そんな時に少しでも楽になつてもらえるように、笑顔になれるようにお手伝いできたいと思います。この仕事を志して13年経ちますが、人間の体は本当に素晴らしい！という思いが深まるばかりです。これからも、大好きな仕事を続けていこうと思います。